



岐阜県現代陶芸美術館
Museum of Modern Ceramic Art, Gifu



LISA Seen and Unseen LARSON

リサ・ラーソン展

知られざる創造の世界ークラシックな名作とともに



2024.

06.08 SAT - 08.25 SUN

岐阜県現代陶芸美術館
ギャラリー1

【休館日】 月曜日(ただし、7月15日[月・祝]、8月12日[月・祝]は開館)、
7月16日[火]、8月13日[火]

【開館時間】 午前10時-午後6時(入館は午後5時30分まで)

【観覧料】 一般1000(900)円 大学生800(700)円 高校生以下無料

*○内は20名以下の団体料金 *以下の手帳をお持ちの方および付き添いの方1名まで無料
身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳、特定医療費(指定難病)受給者証

主催 岐阜県現代陶芸美術館
共催 中日新聞社、東海テレビ放送、TOKAI RADIO
特別協力 リサ・ラーソン・デザインAB、リアン・デザイン・ミュージアム
後援 スウェーデン大使館

協力 フィンエアー、フィンエアーカーゴ
企画 株式会社アートインプレッション、株式会社松屋
企画協力 株式会社トンカチ

LISA Seen and Unseen LARSON

リサ・ラーソン展 知られざる創造の世界 ークラシックな名作とともに

リサ・ラーソンは、素朴で温かみのある、動物や人物をモチーフとした作品で知られるスウェーデンの陶芸家です。

1931年スウェーデンに生まれたりサ・ラーソンは、同国のグスタフペリ磁器工房に長くデザイナーとして勤め、世界中で親しまれる数多くのプロダクトを手掛けました。1980年にフリーのデザイナーとなって以降も幅広く活動し、惜しくも今年3月に亡くなるまで、自身の工房で楽しみながら制作に向き合っていました。

本展覧会は、「Seen and Unseen」をテーマに、リサ・ラーソンのこれまで知られてこなかった創作の側面に光を当て紹介するものです。

愛らしい動物のシリーズなどおなじみの名作に加え、学生時代の作品、プロダクトと並行して制作が続けていた一点物の作品（ユニークピース）、ガラスなど異素材を用いた作品、また、互いに影響を与えた、夫である画家グンナル・ラーソンの作品など約250点の作品を紹介します。陶芸家リサ・ラーソンの知られざる創造の世界をご覧ください。



〈オモテ〉 左上から時計回りに、トリの器(ユニークピース)(部分) 1982年 ブルドッグ/ケンネルシリーズ 製造1972-1987年 大皿(ユニークピース)(部分) 1993年 陶芸家(ユニークピース)(部分) 1950年代 ネコ/小さな動物園シリーズ 製造1956-1978年 愛情(ユニークピース) 1980年 〈ウラ〉 A. ライオン(マキシ)/アフリカシリーズ 本モデルは1968年から製造。本作品は1968-1980年頃に製造 B. トリのレリーフ(ユニークピース) 1950年代初頭 C. ネコ/自由な動物たちシリーズ 製造1970年代 D. 旧市街 製造1963-1978年 E. 社会討論(大) 製造1969-1971年 F. ハイロアザラシ/危機に瀕した動物たちシリーズ 製造1977年 G. 瞑想/思想家 製造1978年 H. 壺(ユニークピース) 1992年 I. 座る1歳の子ども(ユニークピース) 1980年代 © Lisa Larson / Alvaro Campo

関連催事

作家とみて・つくるワークショップ
「いろいろやきものいかにんじ」

講師 小平健一(陶芸家)
日時 7月20日[土] 13:30-15:30、
8月17日[土] 13:30-15:30 (2回連続講座)
会場 岐阜県現代陶芸美術館
セラミックパークMINO作陶館
参加費 2000円(別途要観覧券) 定員 15名
要事前申込 <受付開始:6月15日[土]>

季節のワークショップ

「動物型の蚊やりをつくろう」

講師 奥村潤子(造形作家)
日時 6月9日[日] 13:30-15:30
会場 セラミックパークMINO作陶館
参加費 1500円 定員 16名
要事前申込 <受付開始:5月1日[水]>

こどもむかデー

7月27日[土]・28日[日]
この日の展示室はおしゃべりウェルカム!
また、一息ついていただけるキッズルームを美術館内に設置します。小さなお子さんのご来館をお待ちしています。
*通常開館日の展示室内での会話を制限するものではありません。

この他にも会期中さまざまな催事を予定しています。
詳細や各イベントの申込方法については当館ウェブサイトをご確認ください。

<https://www.cpm-gifu.jp/museum>

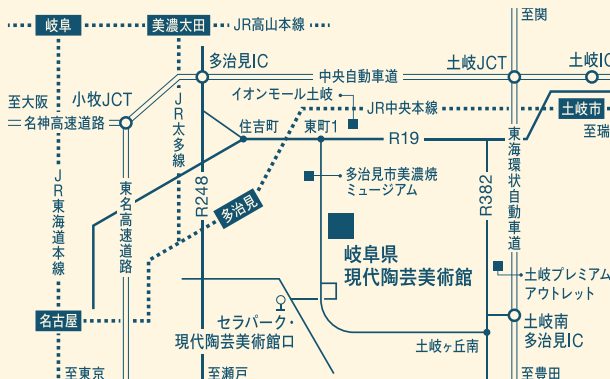


当館学芸員によるギャラリートーク

日時 6月16日[日]、7月14日[日]、8月11日[日]
各日14:00-
聴講無料(ただし要観覧券)、事前申込不要

同時開催(ギャラリーII)

4月20日[土]-6月30日[日] コレクション展 やきもの いきもの/令和4(2022)年度新収蔵作品
7月13日[土]-9月29日[日] コレクション展 東海の陶造形/令和5(2023)年度新収蔵作品



公共交通機関でのアクセス

東京・大阪方面→
名古屋駅でJR中央本線に乗り換え多治見駅から
◎タクシー 約10分
◎多治見市コミュニティバス「オリベ観光ルート」
約20分→「セラミックパークMINO」下車
※土・日・祝のみ運行
◎東鉄バス「瑞浪駅前」行き、「妻木上郷」行き、
「駄知」行き 約15分→「セラパーク・現代陶芸美術館」下車→徒歩約10分

〒507-0801 岐阜県多治見市東町 4-2-5
(セラミックパークMINO内)
TEL 0572-28-3100 FAX 0572-28-310

お車でのアクセス

◎東京方面・東名高速→
豊田JCT経由、新東名高速→豊田東JCT経由
◎富山方面・東海北陸自動車道→美濃関JCT経由
◎長野方面・中央自動車道→土岐JCT経由
東海環状自動車道 土岐南多治見ICから約5分
◎大阪方面・名神高速→小牧JCT経由
中央自動車道 多治見ICから国道19号を土岐・
中津川方面に約10分 東町1の交差点を右折



岐阜県現代陶芸美術館
Museum of Modern Ceramic Art, Gifu